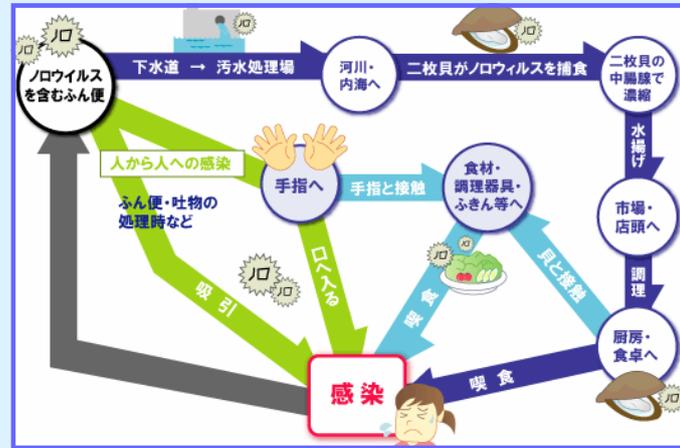




ノロウイルス対策

今年は、例年以上のノロウイルスの感染がみられます。冬場を中心に食中毒の原因となり、感染力が強く、しばしば集団感染を引き起こします。まずは予防！感染を拡大させないために万全な対策が必要です。



感染経路 感染経路は3つ

人→人

感染者の便や嘔吐物を触った手指を介して口に入ったり、乾燥して舞い上がったノロウイルスを吸い込んだケース

人→食品→人

ノロウイルスがついた手で配膳や料理をしたため、食品が汚染され感染。集団感染の最大の原因。

食品→人

ノロウイルスに汚染された二枚貝や、井戸水から感染。

症状は？

潜伏期間：24～48時間
主な症状：吐気、おう吐、下痢、腹痛など。
1～2日で治りますが、その後1週間、長いときは1ヶ月程度ウイルスの排泄が続くため注意が必要。



治療は？

特効薬やワクチンはありません。脱水や体力の消耗を抑えるため、水分と栄養はしっかり補給しましょう。

その他

下痢をしている人の入浴は一番最後にし、まずお尻から洗いましょう。

予防する 感染予防の基本「手洗い」



拡大を防ぐ 便や嘔吐物の処理は速やかに

① ペーパータオルなどで外側から内側に、静かに拭き取る

② ふき取ったものは、次亜塩素酸ナトリウムを入れたビニール袋に密閉し、廃棄する

③ 汚染された場所は、0.02%の次亜塩素酸ナトリウムを浸した布などで拭き、10分程度たったら水拭きする。

消毒には次亜塩素酸ナトリウムを使いましょう。
アルコール消毒はほとんど効果ありません。

消毒薬の作り方 ※漂白剤は塩素系を使うこと！！

通常のお掃除用（0.02%濃度）

●調理器具やドアノブ、手すりなど
1ℓのペットボトルに水を入れ、キャップ1杯の漂白剤を加える。

汚染がひどい場所用（0.1%濃度）

●おう吐物やふん便が付いた床、衣類など
500mlのペットボトルに水を入れ、キャップ2杯の漂白剤を加える。



塩素系漂白剤

予防する 「加熱」と「殺菌」

① 食品は85度以上で1分以上加熱する。カキ、ハマグリなどの二枚貝に要注意！！

② 調理器具等は洗剤で洗い、消毒する。



まな板、包丁、食器、ふきん、タオルなど

洗剤での洗浄後、消毒薬に浸すか、熱湯で消毒を。

JA鹿児島県厚生連
地域医療推進部 地域医療推進課
〒890-0061 鹿児島市天保山町22番23号
TEL 099-806-1101・FAX 099-806-1107
E-mail kou.tis@ks-ja.or.jp